

政治のいまを映すのは 都知事選…ではない

やぎ りょうたろう
八木 遼太郎

(しがく総合研究所)

2024年7月7日に投開票となった東京都知事選挙は、大量の候補者が立候補してマスコミで話題になった。今回の都知事選は泡沫候補にあふれ「エンタメ」と化しており、今の政治状況を知る上での意味はほぼない。注目すべきは東京都議会議員補欠選挙（都議補選）という、もう一つの首都決戦である。

都知事選の主な候補者

今回の都知事選は過去最多56人が立候補した。その大半はいわゆる「泡沫候補」で、当初は小池百合子都知事と蓮舫氏の一騎打ちとの見方が大勢を占めた。

小池都知事は自民党、公明党のほか、連合東京、地域政党の都民ファーストの会などの支援で盤石な体制を整えた。そして「東京大

改革3・0」として災害対策や子育て支援など「都民のため、東京のため」の政策を掲げた。

元参議院議員の蓮舫氏も立候補し、「オール東京」で戦うと明言。ただ、立憲民主党最大の支持母体である連合の東京支部「連合東京」が小池都知事の支援に回り、実質的には共産党の支援だけで選挙戦を戦った。なお、蓮舫氏の目玉政策は「家賃補助・奨学金返済拡充、行財政改革、神宮外苑の再開発」すなわち「バラマキ、事業仕分け2・0、税金の無駄使い」というものだった。

広島県安芸高田市長を務めた石丸伸二氏は、SNSで知名度が急上昇し注目を集めた。「東京一極集中の是正」を掲げたが、これは東京のお金を地方にばら撒くことであ

り、東京都知事が地方にバラマキをしても都民には何のメリットもない。

他候補については紙幅の都合上言及は避けるが、泡沫ではない候補のうち、都民のための政策を掲げたのは小池都知事だけであった。

サプライズなき「小池3選」

都知事選は小池都知事が291万8015票を獲得し、2位の石丸伸二氏に大差を付け、大方の予想通り3選を決めた。蓮舫氏は3位に終わり、投票率は60・62%だった。

今回の都知事選は勝利すべき小池都知事が勝っただけの選挙で政治の現状を知るうえで何ら示唆はない。

むしろ、今の政治情勢を見るうえで「もう一つの首都決戦」である都議補選が重要だ。

この結果が次期衆院選・参院選の東京選挙区の結果に大きく影響するためである。

政局を読む上では都議補選に注目

都議補選は品川区、中野区、板橋区、北区、足立区、江東区、八王子市、府中市、南多摩の9選挙区で実施された。改選前は、自民党が5議席、都民ファーストの会が2議席、諸派が1議席、無所属議員が2議席を有していた。

選挙結果を政党別に確認しよう。自民党は板橋区、府中市で2勝したが6敗を喫した。勝利ラインの4勝には及ばなかったが、都議会第1党は維持した。

衝撃が走ったのは八王子市での敗北だ。八王子市は自民党東京都連会長の萩生田光一衆院議員の地盤で「保守王国」である。また公

自民党にとってはもともと持っていた議席を失うのは良い結果ではない。ただ、立憲民主党・共産党の伸び悩みで国政への影響は限られ、次期衆院選では野党が大連立を組まない限り、政権交代の可能性は低いのも事実だ。

今後、議席を伸ばした都民ファーストの会の特別顧問である小池都知事の動向がどう国政に影響するかには注目である。なお、石丸氏は人口の多い高齢者の票は取り込めておらず、広島県安芸高田市長選では石丸氏に批判的な候補が当選しており、現時点で国政に影響を及ぼす可能性は低いとみている。

あなたの投票が政治を変える

繰り返しになるが、政治の現状を把握する

明党が強力な組織票を持つため、自民党候補者が勝るとみられていたのである。自民党は4月投開票の衆院補選でも保守王国の島根1区で負けており、盤石な地盤を持つ地域での敗北が目立つ。

「反自民」の受け皿とみられていた立憲民主党は1勝2敗、立憲民主党に協力し候補者調整をした日本共産党は4選挙区で全敗。立憲民主党の1勝もわずか762差という薄氷の勝利だった。蓮舫氏の都知事選「大敗」も相まって、立憲民主党や共産党では国民の不満の受け皿になれないことが明らかになった。

都民ファーストの会は3勝1敗と堅実な戦いぶりだった。立憲民主党と直接対決した南多摩選挙区でも勝利し「自民党も立憲民主党も嫌」という有権者を取り込んだ。

うえで有益なのは都知事選ではなく都議補選である。それほど今回の都知事選は史上稀にみる低レベルな争いだった。

なぜなのか。それは都民が政治に無関心だからだ。議会制民主主義というルールの中では、酷い政治やレベルの低い選挙の責任はすべて有権者にある。政治の責任は政治家ではなく国民にある。政治不信が高まる昨今であっても、半分以上の有権者は多くの選挙において投票をしていないのが現状である。

だから日本は良くならない。政治が悪いと本当に思うのであれば、投票して落としたい政治家を落とせばいい。批判だけしていても、行動しなければ社会は何も変わらない。

投票によって意思を示し、ともに日本を変えよう。

